



「当社は総合的な投資銀行として、現在の市場の水準を超え、お客様の期待を上回るような革新的なサービスを提供する必要があります。」

当社にとってメッセージラボは、お客様との間の信頼関係の構築を支援してくれる、優れたビジネス パートナです。」

大和証券 SMBC
香港リミテッド
IT 部長
大山真一氏

大和証券グループ

メールを悪用したウィルスが増大するなか、大和証券では、この問題に対する総合的な解決策の必要性を認識していました。同社に導入されていた自社開発のアンチウィルスシステムの維持には多大な労力とコストがかかり、またウィルスが発生してからパッチが配布されるまでに時間がかかりすぎる点が懸念されていました。このような問題を抱えていた大和証券は、メッセージラボのある既存ユーザからきわめて効果的な解決策としてひとつのサービスを推奨されました。それがメッセージラボのアンチウィルス サービスでした。

大和証券 SMBC 香港リミテッドは、設立から 30 年以上の歴史を持つ香港の企業です。総合的な金融サービス企業として、株式および確定利付き証券、コーポレート ファイナンス、コンサルティング サービスを香港地域およびヨーロッパのさまざまな顧客向けに提供しています。

同社は、日本有数の金融機関で世界各国に拠点を持つ大和証券グループおよび三井住友銀行のグループ企業です。

大和証券 SMBC 香港のシステムではおよそ 150 のメール アドレスが利用されており、社内のサーバを介して 1 日あたり 3,000 件のメールがやりとりされており、メールに対する依存度の高い企業といえます。悪質なウィルス攻撃を受ければ、当社にとって深刻な打撃となることは間違いありません。同社で IT 部長を務める大山真一氏は次のように語ります。「大手の国際金融機関である当社は、ウィルス攻撃によって甚大な影響を被る恐れがあります。第一に、ウィルス攻撃によって生じたトラブルを解決するまでの間、会社のネットワークとメールを遮断しなければならなくなります。そうなれば、世界中のお客様との通信手段が大幅に制限されることとなります。第二に、もし当社からお客様にウィルスが送信された、あるいは当社のウィルス対策が不十分であったと見なされることになれば、企業としての信用を失い、当社のビジネスに影響が及ぶだけでなく、お客様にご迷惑をおかけすることにもなります。」

ウィルス攻撃がもたらすコスト

「また、ウィルスを除去する作業を行っている間はお客様との通信ができなくなるため、ビジネス機会の損失にもつながります。メールが使えなくなれば、通常の業務は滞り、手作業に頼らざるを得なくなります。これには当然、余分なコストが発生します。」

ウィルス攻撃がもたらすコストの深刻さ

「ウィルス攻撃がもたらすコストを金額に換算するのは難しいことですが、それがきわめて膨大な額に上ることは間違いありません。当社がウィルスの脅威をきわめて深刻に受け止める理由もそこにあります。メッセージラボのアンチウィルス サービスを導入したことは適切だったと思っています。」

「メッセージラボのサービスを導入する前は、ウィルスが発生するたびに 250 台もの PC をチェックしなければなりません。IT 部門にとってそれがいかにかたいへんな作業であるか、おわかりいただけるでしょう。」

シンガポールでも評価を受けるメッセージラボのサービス

メッセージラボのサービスは、香港と同様、大和証券 SMBC シンガポールでも高い評価を得ています。大和証券 SMBC シンガポールで IT 担当バイス プレジデントを務めるジェシカルア氏は次のように語ります。「当社のシステムでは 1 日あたりおよそ 1,500 件のメールが送受信されており、効果的なメール セキュリティ ポリシーを採用することは当社の最優先課題のひとつとなっています。メッセージラボのアンチウィルス サービスは、既知および未知のウィルスに対する総合的な防御策を提供してくれます。今年の初めにこのサービスを導入して以来、当社では 24 時間 365 日、ウィルスの心配のない業務環境が実現して

います。メッセージラボのカスタマ サービスはたいへん優れています。メッセージラボとの間で素晴らしい関係を築くことができたことに満足しています。」

ウィルスの脅威は、大和証券では以前から深刻に受け止められていました。以前は、社内のすべてのサーバおよびデスクトップ型ワークステーション上で自社開発の従来型アンチウィルス ソフトウェアを実行し、IT 担当者が毎朝インターネットで新種のウィルスに関する情報をチェックしていました。しかし、こうした従来型のウィルス対策が最新のシグネチャによる防御ほど効果的でないことは周知のとおりです。そして、ベンダから最新のシグネチャを入手できたときには、既にウィルスが威力を発揮し、損害が生じているといったこともありがちです。大和証券 SMBC には 2001 年 9 月にメッセージラボのサービスが導入されました。以来、大山氏が率いる 15 名の IT チームは、メールを介したウィルスに関するそれまでの懸念がすべて解消できたと満足しています。同社では、メール以外の経路からシステムに侵入するウィルスを検知する目的で、現在も自社開発のアンチウィルス ソフトウェアが引き続き使用されていますが、同社でやりとりされるメールはメッセージラボのサービスによりインターネット レベルでスキャンされており、IT チームはより生産性の高いプロジェクトに専念できるようになっています。

**「当社はウィルスの脅威を
きわめて深刻に
受け止めています。」**

**メッセージラボのアンチウィルス
サービスの導入は正解だったと
思っています。」**

本来の業務により多くの時間を充てるために

大山氏は次のように述べています。「メッセージラボのアンチウィルス サービスを導入したことにより、私たちのチームは、IT ソリューションを通じた自社のビジネス戦略の支援、IT 関連の問題について経営陣へのアドバイス、新しいテクノロジーを導入してビジネス チャンスを探る支援など、本来の業務により多くの時間を割くことができるようになりました。」

しかし、このように生産性の高い業務に充てる時間が増えたことは、大和証券がメッセージラボのサービスを導入したことによって得た付随的な効果に過ぎません。大山氏のチームにとって重要なのは、メッセージラボによってウィルスからの 100%の防御が保障され、ウィルスに感染したメールが自社のネットワーク境界に近づく前に確実に阻止されるということです。「私たちはウィルスの脅威が増大していることを認識していました。そして、ウィルス対策に多くのリソースを注ぎ込んでいました。ある会社がメッセージラボのサービスを利用して大いに満足しているということを聞き、当社でも検討すべきだと考えたのです」と大山氏は述べています。

納得できる価値を提供するメッセージラボのアンチウィルス サービス

「メッセージラボのスタッフの質の高さには感銘を受けました。また、サービスの構築方法や提供されているサポートの内容も納得できるものでした。サービスをごく短期間で確実に実装できるという点も魅力的でした。」

「しかし、何を購入する場合も同様ですが、最終的に問題となるのはコストです。当社では、深刻なウィルス攻撃を受けた場合にかかるコストと比較した結果、このサービスの 1 ユーザあたりの月間料金は妥当な額であると判断しました。」大山氏は、自社がメッセージラボの総合的なウィルス対策を導入していることに加え、メッセージラボと協力して対策を進めているということが、企業としてプラスのメッセージを発信することになると信じています。「当社は総合的な投資銀行として、現在の市場の水準を超えて、お客様の期待を上回るような革新的なサービスを提供する必要があります。当社にとってメッセージラボは、お客様との間の信頼関係の構築を支援してくれる、優れたビジネス パートナです」と同氏は語っています。